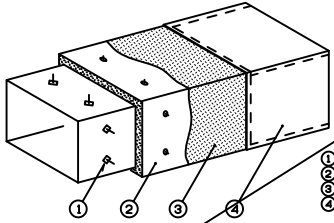


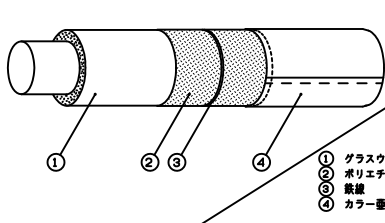
長方形ダクト：屋内露出（一般居室、廊下）、屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む）、浴室・厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）



材 料 名	規 格	備 考
1 板		
2 グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	厚さ 0.05mm
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.35mm
4 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	

- 屋外露出、厨房、浴室等の多湿箇所はカラー亜鉛鉄板をステンレス鋼板に換みかえる。
- 屋内露出（一般居室、廊下）はポリエチレンフィルムを省略する。
- 保温厚さ：50mm
- ダクトのフランジ部（継ぎ目含む）は、厚さ25mmの保温材の重ね敷きを行うか、ダクトの保温厚さをフランジ高さ+10mm以上とする。

スパイラルダクト：屋内露出（一般居室、廊下）、屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む）浴室・厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）



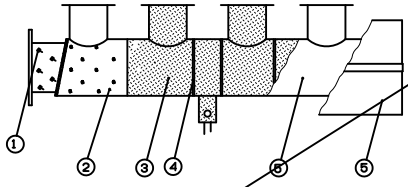
材 料 名	規 格	備 考
1 グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	厚さ 0.05mm
2 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 1.2mm以上
3 鉄線	JIS G 3547 亜鉛メッキ鉄線	厚さ 0.35mm
4 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	

- 屋外露出、厨房、浴室等の多湿箇所はカラー亜鉛鉄板をステンレス鋼板に換みかえる。
- 屋内露出（一般居室、廊下）はポリエチレンフィルムを省略する。
- 保温厚さ：50mm
- グラスウール保温板の使用困難な箇所は、波形保温板を使用してもよい。

ボイラー及び温風暖房機、冷凍機、吸気式冷暖水機、コージェネレーション装置蓄熱ユニット

製造者の標準仕様とする。

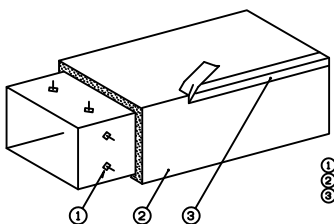
ヘッダー



材 料 名	規 格	備 考
1 板		
2 グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	厚さ 0.05mm
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 1.2mm以上
4 鉄線	JIS G 3547 亜鉛メッキ鉄線	厚さ 0.35mm
5 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	

- 厨房、浴室等の多湿箇所はカラー亜鉛鉄板をステンレス鋼板に換みかえる。
- 温水ヘッダー、蒸気ヘッダーはポリエチレンフィルムを除く。
- 保温厚さ：50mm
- グラスウール保温板の使用困難な箇所は、保温材又は波形保温板を使用してもよい。

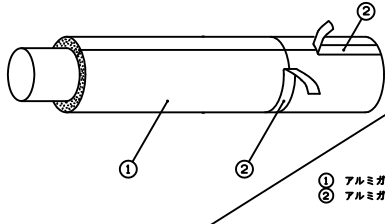
長方形ダクト：機械室、倉庫、倉庫、屋内暖かい、ダクトシャフト内、厨房の天井内



材 料 名	規 格	備 考
1 板		
2 アルミガラスクロス化粧グラスウール保温板	JIS A 9504 40K+0.02厚782h*782h	
3 アルミガラスクロス貼着テープ 目隠り		

- 保温厚さ：25mm
- ダクトのフランジ部（継ぎ目含む）は、厚さ25mmの保温材の重ね敷きを行うか、ダクトの保温厚さをフランジ高さ+10mm以上とする。

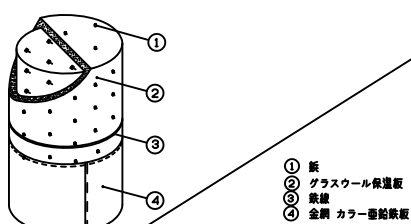
スパイラルダクト：機械室、倉庫、倉庫、屋内暖かい、ダクトシャフト内、厨房の天井内



材 料 名	規 格	備 考
1 アルミガラスクロス化粧グラスウール保温板	JIS A 9504	
2 アルミガラスクロス貼着テープ		

- 保温厚さ：25mm厚
- アルミガラスクロス化粧グラスウール保温板の使用困難な箇所は、アルミガラスクロス化粧グラスウール波形保温板としてもよい。

熱交換器、温水タンク、温水タンク、脚張タンク、貯湯タンク

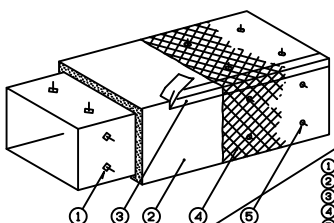


材 料 名	規 格	備 考
1 板		
2 グラスウール保温板	JIS A 9504 40k	厚さ 0.05mm
3 鉄線	JIS G 3547	厚さ 1.2mm以上
4 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35mm

- 保温厚さ：熱交換器、温水タンク、温水タンクは、50mm厚
- 脚張タンク、貯湯タンクは、25mm厚

- 露出配管にて、火傷するとと思われる範囲は保護を行う。

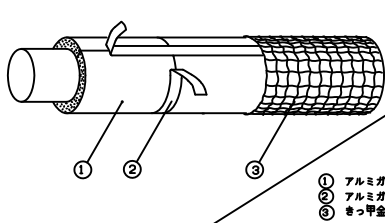
長方形ダクト：排煙ダクト



材 料 名	規 格	備 考
1 板		
2 アルミガラスクロス化粧ロックウール保温板	JIS A 9504 1号、2号 +0.02厚782h*782h	
3 アルミガラスクロス貼着テープ 目隠り		
4 きっ甲金網	JIS G 3554 線径0.4mm 16mm目	
5 底金		

- 保温厚さは、一般ダクトの区分に準ずる。

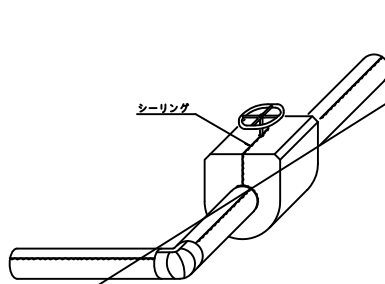
スパイラルダクト：排煙ダクト、排気筒



材 料 名	規 格	備 考
1 アルミガラスクロス化粧ロックウール保温板	JIS A 9504 1号、2号 +0.02厚782h*782h	
2 アルミガラスクロス貼着テープ		
3 きっ甲金網	JIS G 3554 線径0.4mm 16mm目	

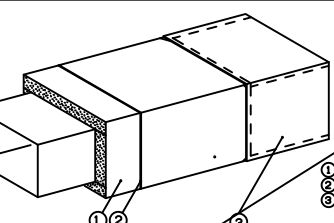
- 保温厚さは、一般ダクトの区分に準ずる。

シーリングの要領（屋外）



- 露目、合わせ目、支持金物の切り込み部シーリングを行う。
- シーリング材：クロロブレンゴム系 又は シリコン系

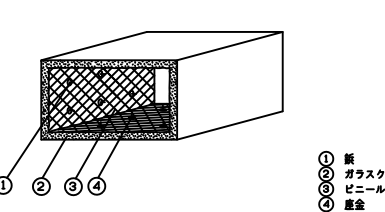
煙道、煙突



材 料 名	規 格	備 考
1 ロックウール保温板	JIS A 9504 1号、2号	厚さ 200mm
2 鉄線	JIS G 3547 亜鉛メッキ鉄線	線径 1.2mm以上
3 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	厚さ 0.35mm

- 保温厚さ：75mm厚
- ロックウール保温板をロックウールブランケットとしてもよい。
- 天井内はカラー亜鉛鉄板を省略できる。その場合、きっ甲金網で結束する。
- 保温止め用鉄線及びカラー亜鉛鉄板止め鋼線は必要に応じて取り付ける。

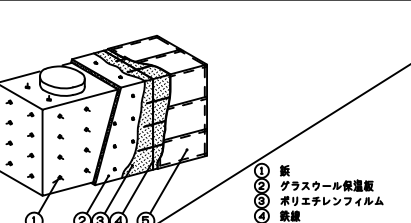
消音内張  
サブライチャンパー、消音チャンパー、消音エルボ、ボックス、ブリーズライン



材 料 名	規 格	備 考
1 板		
2 ガラスクロス化粧グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	
3 ビニール被覆きっ甲金網	線径0.5mm 16mm目	
4 底金		

- 保温厚さ：サブライチャンパー50mm厚、その他は25mm厚
- 消音チャンパー、消音エルボ、ボックス、ブリーズラインはビニール引金網を省略できる。
- サブライチャンパーにてアルミバンディングメタルを使用する場合は特記による。

冷水タンク、温水タンク、鋼板製タンク



材 料 名	規 格	備 考
1 板		
2 グラスウール保温板	JIS A 9504 40K	厚さ 0.05mm
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 1.2mm以上
4 鉄線	JIS G 3547 亜鉛メッキ鉄線	厚さ 0.35mm
5 カラー亜鉛鉄板	JIS G 3312	

- タンクの場合はグラスウール保温板をロックウール保温板（金網にて補強）に換みかえる。
- 保温厚さ：50mm厚
- 衛生設備、鋼板製タンクのふたの保温は行わない。（鋼板カバーのみ施工する）
- グラスウール保温板の使用困難な箇所は、保温材又は波形保温板を使用してもよい。